

# JAおすすめの… かんたん除草!!

農林水産省登録  
第20048号

**投げ込むだけ**の水稲用除草剤

# ナイスショット®

10アール当り、10パック(500g)

アゼナ類



**ジャンボ®**



ノビエ



ホタルイ

**ノビエ、ホタルイに、  
確かな効果と長い残効性。**

**水稲除草剤は、水が決め手です!!**

- 散布時：5cm以上の水深で処理。
- 散布後：水口、水尻をしっかりと止めて、しっかりと湛水。

JAグループ  
農協 | **全農** | 経済連  
全農は登録商標 第4702318号

 **三井化学アグロ株式会社**

# ナイスショット® ジャンボ®

農林水産省登録 第20048号

■有効成分：カフェンストロール…4.2% ピラゾレート…18.0% プロモブチド…18.0%  
 ■人畜毒性：普通物\*

※「毒物および劇物取締法」（厚生労働省）に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

## 特長

- ★畦から投げ込むだけの省力型除草剤。
- ★ノビエ、ホタルイに安定した効果と、長い残効性。
- ★SU抵抗性(スルホニルウレア系除草剤抵抗性)雑草にも有効。
- ★イグサ田に隣接した水田でも使用可能。

2015年8月1日現在

## 使用基準

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール当りの使用量	本剤の使用回数	使用方法	カフェンストロールを含む農薬の総使用回数	ピラゾレートを含む農薬の総使用回数	プロモブチドを含む農薬の総使用回数	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 および マツバイ ホタルイ ウリカワ ヘラオモダカ (北海道、東北)	移植後3～15日 (ノビエ2葉期まで)	砂壤土～埴土	小包装 (パック) 10個 (500g)	1回	水田に 小包装 (パック) のまま 投げ入 れる。	1回	2回以内	2回以内	北海道
		移植後3～12日 (ノビエ2葉期まで)								東北、北陸
		移植後3～10日 (ノビエ2葉期まで)								関東以西の 普通期および 早期栽培地帯

## 使用時期

### ●北海道



### ●東北・北陸

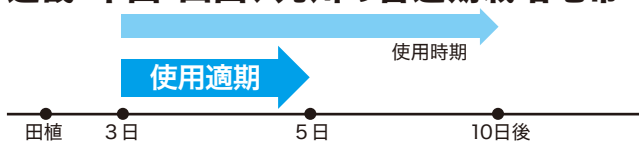


### ●関東・東山・東海

### ●近畿・中国・四国、九州の早期栽培地帯



### ●近畿・中国・四国、九州の普通期栽培地帯

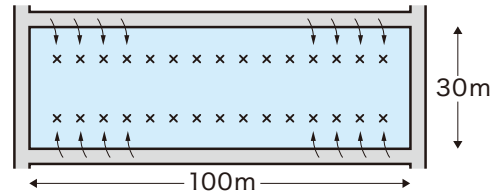


## 注意事項

- 必要量を購入し、できるだけ残すことなく使いきってください。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2葉期までに時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレがあるので、必ず適期に散布するように注意してください。ホタルイは2葉期まで、ウリカワ、ヘラオモダカは発生始期までが本剤の散布適期です。
- 苗の植付けが均一となるように代かきをていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 処理に当たっては、水の出入りを止めて水深5～6cmの湛水状態にし、散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。自然減水により田面の一部が露出するようになったら、水尻を止めて通常の水深になるまで水を入れて水口を閉じてください。また、止水期間中の入水は静かに行ってください。
- 本剤は小包装(パック)のまま10アール当り10個の割合で水田に均等に投げ入れてください。
- 蘗や浮草が多発している水田では、拡散が不十分となり、効果の劣る可能性があるため使用を避けてください。
- 散布後に多量の雨が予想される場合は除草効果が低下することがあるので使用を避けてください。
- バックに使用しているフィルムは水溶性なので、ぬれた手で作業したり、降雨で破袋することのないように注意してください。
- 下記のような条件では薬害が発生する恐れがあるので使用を避けてください。
  - 1) 砂質土壌の水田及び漏水田(減水深2cm/日以上)

## バックの投げ込み方

### ●30アールの場合、30パック



(散布例) 30アール(30m×100m)の場合、図のように、10アール当り10パックの割合で30個投げ込む。

## より良い効果のための上手な使い方

**整地、代かきはていねいに!!**

**処理時の水深、5cm以上!!**



**処理後の水管理も大切!!**

**落水、かけ流しは×**



- 2) 軟弱な苗を移植した水田 3) 極端な浅植の水田及び浮き苗の多い水田
- 活着遅延を生ずるような異常低温が予測されるときは、初期生育の抑制などが生ずる恐れがあるので、このような条件下での使用に際しては、県の防除基準に基づき関係機関の指導を受けてください。
- 北海道の泥炭質土壌の水田で使用する場合は、ウリカワには効果が劣ることがあるので、泥炭質土壌のウリカワ多発田では使用しないでください。
- 散布田の水田水を他の作物に灌水しないでください。
- 河川、湖沼、地下水等を汚染しないよう、落水、かけ流しはしないでください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 水溶性フィルム包装が破袋した場合は以下の点に注意してください。
  - 1) 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
  - 2) かぶれやすい体質の人は取扱いは十分に注意してください。
- 水産動物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。
- 水産動物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養魚池等に流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 空袋等は水産動物に影響を与えないよう適切に処理してください。

○使用前にはラベルをよく読んでください。 ○ラベルの記載以外には使用しないでください。 ○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。  
 ○容器・空袋などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。 ○防除日誌を記載しましょう。

\*本製品は農業用除草剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。

\*本印刷物は2015年8月1日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。